

編集部へ寄贈していただいた書籍

(2022年1月～12月)

- 青山弘之著『ロシアとシリア——ウクライナ侵攻の論理——』岩波書店 2022, xix+174+16 pp.
- アルトゥーロ・エスコバル著 北野収訳・解題『開発との遭遇——第三世界の発明と解体——』新評論 2022, 538 pp.
- 池田真也著『商人が絆す市場——インドネシアの流通革命に交わる伝統的な農産物流通——』京都大学学術出版会 2022, iii+207 pp.
- 石川幸一・清水一史・助川成也編著『RCEPと東アジア』文眞堂 2022, xvi+220 pp.
- 林采成・武田晴人編『企業類型と産業育成——東アジアの高成長史——』京都大学学術出版会 2022, vi+388 pp.
- 小田なら著『〈伝統医学〉が創られるとき——ベトナム医療政策史——』京都大学学術出版会 2022, x+316 pp.
- 金子文夫著『日本の東アジア投資100年史』春風社 2022, 293 pp.
- 北野収・西川芳昭編著『人新世の開発原論・農学原論——内発的発展とアグロエコロジー——』農林統計出版 2022, x+262 pp.
- 木下恵二著『近代中国の新疆統治——多民族統合の再編と帝国の遺産——』慶應義塾大学出版会 2022, 233+17 pp.
- 金成垣著『韓国福祉国家の挑戦』明石書店 2022, 237 pp.
- ギュルソユ慈著『トルクメニスタン・ファンブック——中央アジアの知られざる国——』パブリブ 2022, 239 pp.
- 栗本英世・村橋勲・伊東未来・中川理編著『かかわりあいの人類学』大阪大学出版会 2022, iv+308 pp.
- 佐々木智弘著『現代中国の官僚組織行動——電気通信事業改革の政治過程——』法律文化社 2021, iv+192 pp.
- 杉田映理・新本万里子編『月経の人類学——女子生徒の「生理」と開発支援——』世界思想社 2022, 302 pp.
- 園田茂人・謝宇編『世界の対中認識——各国の世論調査から読み解く——』東京大学出版会 2022, iv+248 pp.
- 千葉芳広著『帝国主義とパンデミック——医療と経済の東南アジア史——』吉川弘文館 2022, 7+222 pp.
- 外山文子・小山田英治編著『東南アジアにおける汚職取締の政治学』見洋書房 2022, viii+356 pp.
- 中尾世治著『西アフリカ内陸の近代——国家をもたない社会と国家の歴史人類学——』風響社 2020, 604 pp.
- 中戸祐夫・森類臣編著『北朝鮮の対外関係——多角的な視点とその接近方法——』見洋書房 2022, vi+246 pp.
- 長濱和代著『ヒマラヤの森はなぜ守られたのか——インド・ウッタラーカンド州における森林パンチャーヤトの資源管理——』九州大学出版会 2022, xiv+198 pp.
- 中屋信彦著『中国国有企業の政治経済学——改革と持続——』名古屋大学出版会 2022, iv+360 pp.
- 西直美著『イスラーム改革派と社会統合——タイ深南部におけるマレー・ナショナリズムの変容——』慶應義塾大学出版会 2022, ii+276 pp.
- 西脇修著『米中対立下における国際通商秩序——パワーバランスの急速な変化と国際秩序の再構築——』文眞堂 2022, vi+213 pp.
- 初見かおり著『ハレルヤ村の漁師たち——スリランカ・タミルの村 内戦と信仰のエスノグラフィー——』左右社 2021, 349 pp.
- 前田廉孝著『塩と帝国——近代日本の市場・専売・植民地——』名古屋大学出版会 2022, vii+474 pp.
- 松下冽著『ポスト資本主義序説——政治空間の再構築に向けて——』あけび書房 2022, 212 pp.
- 松田素二, フランシス・B・ニャムンジョ, 太田至編『アフリカ潜在力が世界を変える——オルタナティブな地球社会のために——』京都大学学術出版会 2022, x+452 pp.
- 閻美芳著『日本と中国の村落秩序の研究——生活論からみた「村の公」——』御茶の水書房 2021, viii+210 pp.
- 遊川和郎・湯浅健司編著『習近平「一強」体制の行方』文眞堂 2022, vi+204 pp.
- SGCIME 編『アジア経済の現状とグローバル資本主義』御茶の水書房 2022, vii+340 pp.
- Mark S. Micale and Hans Pols eds., *TRAUMATIC PASTS IN ASIA: History, Psychiatry, and Trauma from the 1930s to the Present*, Berghahn Books, 2021, xiv+346 pp.
- Nagafuchi Yasuyuki, *Bali and Hinduism in Indonesia: The Institutionalization of a Minority Religion*, Kyoto

University Press, 2022, viii+300 pp.

Osawa Takamasa, *At the Edge of Mangrove Forest: The Suku Asli and the Quest for Indigeneity, Ethnicity, and Development*, Kyoto University Press, 2022, xi+238 pp.